

17. 「決戦兵器の基幹たる火薬の製造が国家の最優先」は自民党総裁 選出馬の高市前総務相「防衛費の増額 GDP の 2%で、10 兆円規模だ」 と相通じる戦争への狂気

フェイスブック掲載日 2021/9/20

先に書いた京都大学名誉教授西山卯三博士の「宇治は火工廠の中でも、平時は全軍隊の需要の半分をまかなっていた日本最大の火薬製造工場である。」との回想を裏付けるような史料を国立公文書館アジア歴史資料センターで見ることができました。「陸軍一般史料中央軍事行政軍需動員実施概況報告(月報) 昭和 15 年 4 月～9 月」です。この史料中「製造所別月別引渡額」の数値を拾うと次のような表、グラフとなり、全国 6 カ所の火薬製造所中、宇治火薬製造所がおよそ 4 割占め日本最大であることが分かりました。

宇治発電所からの強力な電気供給により、製造にますます拍車がかかり、終戦間際の昭和 20 年 7 月になると、「火薬類ノ生産増強ニ関スル閣議決定ノ件」という件名で「戦局の進展に対応し決戦兵器の基幹たるべき火薬類の生産は愈々之を増強するの要あるに鑑み 6 月 29 日閣議決定相成り 火薬類及其原料関係工業を刻下の重点部門とし 之が生産増強上各般に亘り最優先的取扱をなし 之が為必要なる一切の措置を強力且迅速に遂行すること」との国家あげてなりふり構わぬ姿が資料から見ることが出来ます。

今日の安倍・菅と続いた政権が、軍事予算を 8 年連続で過去最大に更新し、国内総生産(GDP)の 1%枠も越えようとしています。自民党総裁選への出馬を表明した高市早苗前総務相は 10 日、防衛費の増額に意欲を示し、「米欧並みにするならば GDP の 2%で、10 兆円規模だ」と述べており、あの悲惨な戦争に突き進んだ狂気に通じる恐ろしさを感じています。早くこんな政治、変えなくては！命を守る政治こそ私たちの願いです。

製造所別月別引渡額表 (万円)

1940 (S15) 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	(%)
全国	499.6	448.2	466.7	439.2	440.8	478.0	2,772.5	100.0
板橋火薬製造所	120.2	86.8	92.1	98.2	85.3	105.9	588.5	21.2
多摩火薬製造所	64.6	68.2	50.6	48.2	37.3	58.5	327.4	11.8
宇治火薬製造所	159.1	171.2	208.2	171.3	182.4	179.6	1,071.8	38.7
忠海兵器製造所	49.3	62.3	83.0	74.4	71.9	71.9	412.8	14.9
岩鼻火薬製造所	91.5	48.4	32.1	46.8	54.8	60.5	334.1	12.1
曾根火薬製造所	14.9	11.3	0.7	0.3	9.1	1.6	37.9	1.4

1940 (昭和15) 年製造所別月別引渡額表

